

- 放射線量の測定結果……2-3面
- まちかど健康サロン……4面
- 江戸川・水フェスタ in いちかわ  
Eポートレース参加チーム募集…5面
- ボランティアに参加しませんか…7面
- 健康スポーツ教室……8面

## 市の対応

### ●千葉県へ要望書提出

5月20日、市川市と千葉市、船橋市、習志野市、市原市、八千代市、及び浦安市の7市により、千葉県に対し、市民の不安解消のため講ずべき5項目をまとめ、「東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う要望書」を提出しました。要望書の内容は次のとおりです。

- 1.市民の不安を解消するため、千葉県知事自らが県内の大気中並びに土壌の放射線量に関して国の基準に基づいた評価を公表し、市民の不安を解消すること。
- 2.現状の市原市1か所となっているモニタリング・ポストを増設し、県内において、きめ細かな測定値の公表を早急に行うこと。
- 3.千葉市・市川市・船橋市・習志野市・市原市・八千代市・浦安市の市域で、統一した測定方法により放射線量を測定し、結果を公表すること。
- 4.子どもたちの健康と安全・安心な生活環境の確保のため、保育所・幼稚園・学校等の土壌等を測定し、結果を公表すること。
- 5.学校の屋外プール水について、運用の統一

基準を県が示し、子どもの安全を確保するとともに保護者の不安を解消すること。

### ●5月25日「放射能汚染対策検討会」を設置

放射能対策に関する情報の収集、市民生活の相談対応や影響調査について調整を行っています。検討した内容については、市ホームページで公表しています。

### ●市内プール水等の測定について

6月8日から市内プール水等の放射線量の測定を実施しています。プール水は、稲越・柏井・新井・新浜・鬼高の各小学校についてのモニタリング検査と、市民プールの測定を行いました。また、大洲防災公園・駅前公園・南行徳公園の噴水施設などについて測定しました。測定機関は千葉県薬剤師会検査センターで、放射性ヨウ素131・放射性セシウム134及び137について検出されません(1kg当たり10ベクレルの検出限界値を超えず)でした。今後も、公共施設にあるプール水等の検査を実施し、測定結果は随時市ホームページで公表いたします。

**放射線量の測定結果により、プールをはじめ施設の開設状況などに変更が生じることがあります。**

### ●水道水の放射線量について

市内の水道は、県営水道の水を使用しています。県水道局による測定の結果、いずれの浄水場からも放射性物質が不検出の状況となっています。

### ●菅野終末処理場における汚泥等の放射性物質の調査結果について

5月26～30日に、菅野終末処理場の脱水汚泥などに含まれる放射線量の測定を行いました。脱水汚泥の放射性ヨウ素131は検出下限値未満で、放射性セシウム134は1,350ベクレル/kg、同137は1,630ベクレル/kg(5月30日雨天時)でした。流入水及び放流水の放射性物質(放射性ヨウ素、放射性セシウム)は、全て検出下限値未満でした。

## 市内の現況

### ●大気中の放射線量について

6月3日から大気中の放射線量の定点調査及び保育園・幼稚園・小中学校での測定を実施しています。測定値は市ホームページで公表しています。また、千葉県は6月7日に市内2ヶ所の放射線量の測定を行いました。

### ●農産物の放射性物質について

市川産の農産物については、千葉県が4月28日にホウレンソウ(露地)、5月23日にトマト(ハウス)、6月9日にコマツナ(ハウス)の測定を行いました。いずれも、国などが示している暫定規制値を超える測定値は検出されておりません。

# 市独自に放射線量を測定

# 今後とも継続的に数値を公表



▲簡易式の測定器(右上)により駅前公園で大気中の放射線量を測定

東日本大震災に伴う福島第二原子力発電所の事故による放射能の影響問題では、さまざまな測定データが公表されていますが、測定機器や調査の対象や単位が異なるため数値に幅が生じ、皆さんに不安が生じています。

この事故以降の千葉県内の状況については、独立行政法人放射線医学総合研究所からは、「普段どりの生活をしていただいで問題はありません」との見解が示されており、市川市も同様の状況であると認識しております。

しかし、問題が広域的であり長期化すると思われることから、5月20日千葉県に対し千葉市や船橋市などの近隣7市の連名で、県内の放射線量について県としての評価を行い公表することや、モニタリングポストの増設、統一した測定方法による測定と公表について要望しました。

現在、県ではそれらを受けて県内の空間放射線量の測定を継続的に行い数値を公表しております。市では、今後も皆さんの要望が多いことから簡易式の測定器による大気中の放射線量測定を継続的に行い数値を公表していくとともに機器の整備を含め対応してまいりますので、冷静な対応をお願いします。

なお、放射線量にかかる基準を明確化するよう、近隣市と連携して国・県へ働きかけてまいります。

## 緊急情報を直接送信

### 市川市メール情報配信サービス

「大気中の放射線量情報」配信開始  
既にサービスを利用している方も、別途登録を

下記の方法で登録いただくと、市川市の災害時の緊急情報等を知ることができます。

info@city.ichikawa.chiba.jp

または下記のQRコードから空メールを送信し、送られてくるメールに記載されているURLをクリックしてください。配信項目は、登録後に変更できます。メールの受信には通信料がかかります。

☎334-1106 広報広聴課



## 風評被害の防止にご協力を

このたびの原発事故による風評で、農産物への消費に影響が出ています。市内の農産物は、千葉県が定期的に放射性物質の検査を実施しています。根拠のない風評に、振り回されないようにしましょう。(農政課)

## 問い合わせ先

- 放射能汚染対策全般に関すること  
危機管理課 ☎334-1507
- 定点調査に関すること  
環境保全課 ☎320-3977
- 小中学校等における調査に関すること  
小中学校 保健体育課 ☎334-1643  
幼稚園 就学支援課 ☎704-0255  
保育園 保育課 ☎334-1185  
公園 みどり管理課 ☎332-8744  
(駅前公園のみ) 行徳支所地域整備課 ☎359-1287

放射線量の測定結果は、2・3面ををご覧ください。  
(今号の掲載内容は6月27日現在の情報に基づき作成しています。)